

最近の一感想

文甲ヲニ士 長谷川 泉

都會に住んでゐる人は、多かれ少かれ、自  
分のありの盡の姿を本来自然の姿としてつく  
ろふこととなくおすことが段々親しくなつて来  
てゐる。自分の醜くさや弱點を知つてゐるが  
存に、それを多くの人の上にさらけ出すだけ  
の勇氣がなくて、虚構の美しさを誇おしよ  
とすのだ。つまりポーズを作る生活が多く  
なるのだ。

第一高等學校原稿用紙

之に反して田舎に住む素朴な人達は、自分  
の姿に対する意識を自覚や批判はないうるが  
ポーズする虚構が比較的少い。又假令虚構があ  
つても、虚構があつても、一見してそれと知  
れずやうな單純な悪氣のないうさで、感じ  
とゐることと思つてゐることと素直に表明する。  
以上の事柄は、此の二者の間に知性の懸隔  
が大きいといふことに其の要因を歸すること  
は無慮のそしりやまぬかれないであらうが  
少くも知性といふものが重要な要因をなして